



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

花便り No. 58



- 目次
- ・ 第19回園芸福祉シンポジウムinくれに参加して
 - ・ 苔玉研修会について
 - ・ ボタニカルライフスクエアー人ー花ハッスル事業
苔玉体験講座
 - ・ エッグプラント研修会について
 - ・ ボタニカルライフスクエアー人ー花ハッスル事業
エッグプラント体験講座
 - ・ アロマスプレー研修会について
 - ・ ゴーヤを育ててみました
 - ・ 市役所花壇管理
 - ・ 園芸福祉の庭
 - ・ 新会員紹介
- ※お知らせ

代表挨拶

黒瀬恵子

5月14日に第20回通常総会を無事に終え、5代目代表も3年目になりました。昨年開催した初級園芸福祉士養成講座のお陰で若い方達の入会があり、近年問題になっていた会員の高齢化に歯止めがかかりました。新しく会員になられた方達のためにも、今年度は研修会を多く開催し、経験豊富な先輩方が知識や技術を惜しみなく伝えられる場づくりができれば、と思っています。若い方達からは、私たちアナログ世代にはさっぱり分からないSNSのサポートをしていただき、お互いがWin-Winの関係で、楽しく園芸福祉活動ができればいいですね。遅くなりましたが、今年度もよろしくお願い致します。

第19回園芸福祉シンポジウムinくれ 4年ぶりのシンポジウムに参加して

黒瀬 恵子

4年5月27日（土）、広島県呉市のビュー・ポートくれで「第19回 園芸福祉シンポジウムinくれ」が開催されました。

コロナ蔓延の3年間、私達は行動が制限され、これまで当たり前だった会うことや話すこと、集うことができなくなりました。花や緑を通してみんなで一緒に幸せになろう、とする園芸福祉活動にとっては厳しいもので、毎年開催されていたシンポジウムも、やむなくオンラインに切り替えて行われましたが、画面越しに顔を合わせても温もりまで感じ合うことは難しく、リアルで会うことの大切さを痛感しての開催でした。

会場には、おもてなしの花としてフレッシュハーブの小さな花束が、爽やかな香りで参加者一人ひとりをお迎えしてくれました。シンポジウムのテーマは「分かち合おう会える喜び話す幸せ」で、中川勝喜氏、進藤丈典氏の両氏による基調報告「コロナ禍でも続けた花活とその効果～2つのデイサービスでの活動～」と、グループに分かれ参加者一人ひとりが、コロナ禍での様子や現状を気軽に話せる情報交換会が行われました。規制が緩和された今も、活動場所によっては以前のように活動できなくなったところもありましたが、仲間が一堂に集い、お互いの顔を見ながら話せたことで、3年間の空白を埋めることができ、次の一步を踏み出すためのエネルギーを充電することができたのではないのでしょうか。

4年ぶりにリアルで開催されたシンポジウムに、園芸福祉ふくおかネットから諫山みどりさん、北野多美子さん、吉松里美さん、黒瀬の4名が参加しましたが、これまでの参加者と大きく変わった点は、私以外はシンポジウムへの参加が初めてだったということ、しかも、全員私より若い方達です。近年、会員の高齢化が問題になっており、シンポジウムへの参加も減少していたので、このことは大きな喜びでした。翌日に園芸福祉の庭の定例作業や会員研修会を控えていたため、シンポジウム後の交流会まで参加することはできませんでしたが、私たちは一日行動を共にしたことで、いつもの活動では味わえなかったまた別の楽しさや面白さも経験することができました。

「第19回 園芸福祉シンポジウムinくれ」は、園芸福祉ふくおかネットにとっても、前に一步を踏み出す大きなきっかけづくりになったことに感謝致します。



グループに別れて行われたディスカッションの様子



おもてなしには
フレッシュハーブの
小さな花束が…

「苔玉作り」研修会に参加して

2023年5月28日 13時より 於/アイランドシティ中央公園内にて



横山 朱美

初めての苔玉作りを楽しみに参加しました。苔だけを丸めた物かと思っていたら、中心に植物を苔で包み込んだステキなものでした。まず初めは緑色の布でできた苔玉の模型に糸を巻いていく練習でした。これがなかなか難しく巻いてはほどき何度も巻き直して、やっと何とかきれいに巻けるようになったので、いよいよ本番です。赤玉土とピートモス、ケト土という初めて聞く土を水を加えながら捏ね、これを手で丸めて真っ黒い泥団子の出来上がりです。これをおせんべいのようにペタンコにして植物の根鉢に貼り付けて泥団子のように丸めたものを四角い苔の上に置き、両手でやさしく包み込みまん丸く作りました。次は練習した糸巻きの本番です。竹ばしの先に糸をかけて苔玉の底の方から中心に竹ばしを差し込み、何度か巻き直しながらぐるぐる巻いて出来上がりました。最後に水の入ったバケツの中に両手でやさしく持った苔玉を2～3回上下にゆらして表面の汚れを取り完成しました。皆さんとお話ししながら和気あいあいと楽しく大変勉強になりました。材料の調達や準備が大変だったと思いますがありがとうございました。

大森 直美

私は初体験でしたので興味津々、ワクワクしながらのスタート。赤玉土、ピートモス、ケト土で楽しく泥団子作り、植物はネオレゲリア、ムラサキオモト、サクラランの3種、緑の苔、入念な苔への糸巻き練習の成果あってか否かこの世に一つだけの苔玉が完成。とても可愛らしく愛しくさえありました。参加者9人で、ワイワイお話ししながらとても楽しい一時を過ごしました。準備と丁寧にご指導下った黒瀬代表、皆さんに感謝しております。今は、苔玉が乾燥しないよう水プールにつけたり、霧吹きをかけることで元気に育ってくれています。



ボタニカルライフスクエア一人一花ハッスル事業 「苔玉作り」体験講座を終えて



北野 多美子

令和5年6月3日（土）に福岡市植物園ボタニカルライフスクエアで午後1時と2時の2回体験講座が行われました。

ボタニカルライフスクエアは、（公財）福岡市緑のまちづくり協会が一人一花運動の拠点である福岡市植物園において、緑のある空間や生活の良さを感じてもらい、花や緑のあるライフスタイルの発見、発想、発信を生み出す新施設です。

苔玉は園芸福祉ふくおかネットの十八番であり、コロナ禍で講座が行われていませんでしたが、初のボタニカルライフスクエアで久々の体験講座となりました。

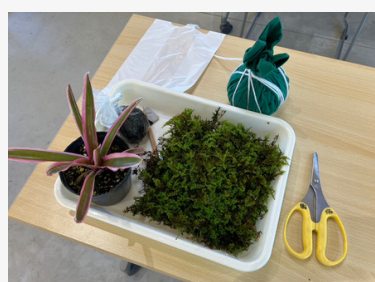
スタッフは事前に研修会を開催し、新会員も経験豊富な会員も手順や注意点を確認し、体験者のサポートが出来るようにしました。

体験講座当日はHPや会報誌で開催を知り参加された方、ふらりと施設に寄り参加して下さった方の総勢17名でした。

植物園内なので広報の仕方を工夫しないと体験者が集まらないと感じました。

一番印象に残っているのは、幼児の女の子で父親と参加され「ネオレゲリアファイヤーボール」のピンク色が気に入り、小さい手で頑張って製作してくれ、出来上がった苔玉はお母さんへのプレゼントにするそうです。父親が写真を沢山撮影している姿も微笑ましい限りでした。

体験された方々が喜んでいただけたので、私たちスタッフも温かい気持ちになりました。



「エッグプラント」研修会に参加して

2023年6月25日 12時より 於/アイランドシティ中央公園内にて



田中 節子

まずは、カズラやワイヤープランツで編んだ小さなリースの上に椰子の繊維をほぐしたものを丸めて置き巣作りです。

巣ができたなら先端に穴を開けた卵の殻をいれてみます。巣に小枝などをさしてデザインすると同時に殻が倒れないようにします。

次に、殻の中に多肉植物の土を8部目くらい入れます。

多肉植物を1個入れてみましたが安定しません。それで小さな多肉を何個か配置して、隙間に土をこぼさないように入れて作品のできあがりです。

小さなかわいい「エッグプラント」ができました。

(小さなリース・椰子繊維の巣などは自宅にあるものを使ってSDGsを考えた黒瀬さんの制作です)



吉武 多恵子

まずはじめに 巣作りからスタート。
ワイヤープランツ、くず、かずら、事前にそれぞれでリースを作って乾かしてあった物から一つ選んでいきました。
その上にココヤシファイバーを適量とり、丸めてリース上に乗せるとかわいい巣の完成!

卵の方も、事前に上部分のカラを2割ほど取って中身を取り出し洗っておいいたカラを先ほどの巣に乗せてみます。

ぐらつかないように巣でカラを固定させると、今度は巣のアレンジです。
ナンテン、ヤマボウシ、ヤマブキの枯れた小枝をさすとますますリアルな鳥の巣に近づきました。

次にカラの中に土をスプーンでそっと入れてからピンセットで小さい多肉植物を植えていきました。

この作業は、容器になっているカラを握りつぶしてしまわないように優しくさと丁寧が必要でしたが、出来上がりの可愛さを見ると納得です。

田中さんから、根腐れするので水やりのコツは「忘れてた!」位の感覚で「おもむろに!」と教えていただき、外出の多い夏休みでこの暑さの中でも元気に育っております。

ボタニカルライフスクエア一人一花ハッスル事業 「エッグプラント」体験講座を終えて



吉松 里美

7月1日（土）はあいにくの雨でしたが、私たちの心がけが良いのか？搬入作業が始まる頃から雨も上がってきました。ところが植物園を訪れる人は殆どいらっしゃらず、準備はするものの、どうなる事かと心配していましたが、植物園の方のご協力（来園者の方へのお声がけ等）もあり当初20名の予定が大幅に増え27名の方が参加してくださいました。

英会話スクールの団体は当初は生徒だけの申し込みでしたが、作品作りを見ていた先生方から「楽しそう、私達もしてみたい。まだ大丈夫ですか？」と言ってくださり、余分に準備していた材料も全て使い切りました。大きすぎてエッグプラントには不向きだろうと思っていた多肉も若い男性の感性で、とても個性的な作品が出来たり、小学生の女兒は鳥の巣用の枝を小さく切ってたくさん重ねたり、若いカップルは卵の色と多肉の種類をあえて変え楽しんだりetc。

参加された皆さんそれぞれ真剣に、そして楽しく作品作りをして頂き大盛況で終わる事ができました。

エッグプラントは男女年齢問わず楽しめることを改めて認識致しました。スタッフにとっても色々（参加者集め・指導等）勉強になった1日でした。

北野 多美子

令和5年7月1日（土）に福岡市植物園ボタニカルライフスクエアで午後1時から行われました。

「エッグプラント」とは？

ワイヤープランツなどのつる性植物でミニリースを作り、ココヤシファイバーをほぐして丸め、ミニリースの上に乗せて鳥の巣を作ります。玉子の殻容器に多肉植物を寄せ植えし、ミニリースに乗せて、小枝を飾り鳥の巣をイメージしたエッグプラントの完成です。

スタッフは事前に研修会を開催し体験者のサポートが出来るようにしました。

当日は雨あがりで植物園内に来園者はまばらで体験者が集まらないのではと心配していましたが、スクールの団体が体験してくださり、合計27名と予定人数を上回りました。

鳥の巣のように可愛らしく仕上げた「エッグプラント」、体験者の笑顔が何よりのやりがいと喜びです。

改善点や反省点もあり今後の講座に活かしたいと思います。

「アロマスプレー」研修会に参加して

2023年8月27日 12時より 於/アイランドシティ中央公園内にて

北野 多美子

令和5年8月27日（日）にアイランドシティ中央公園ワークショップルームで開催されました。

講師は会員である溝口孝夫さんです。

当初研修会の名称は「ハーブスプレー」としていましたが研修会の講師資料には「アロマスプレー」となっておりましたので、訂正いたします。

1 ローズゼラニウム、ラベンダー、ユーカリの3種類の精油から好みの香りを選びます。

2 スプレー容器に無水エタノールを入れます。

3 自分が選んだ精油を加えて軽く容器を振り混ぜます。

4 精製水を加え蓋をして容器をよく振り混ぜたら完成です。

1本目は単品精油でしたが2本目は精油をブレンド調合される方もおられ、ワークショップルーム内がハーブの香りで充満し、癒しの空間となりました。

講師からのサプライズで自家製「紫蘇ジュース」を提供いただき、しっかり堪能しました。

ゼラニウムには虫よけ効果もあり、ハーブの効用や材料、分量などが記載された資料が必要な方は北野迄連絡してください。

※講師から資料提供の了承を得ています。

この夏、ゴーヤを育ててみました。

黒瀬 恵子

ゴーヤの苗を1ポット戴いたことがきっかけで、久しぶりにゴーヤを育ててみることにしました。庭がそんなに広いわけではないので、直径、深さとも40センチくらいの穴を掘り、肥料をたっぷり入れて埋め戻し、苗を植え付けました。

ツルが伸び、雄花が咲いた後、雌花が咲いた時は感激し、毎朝一番に見に行くという楽しみが増えました。

1本の苗から9月6日現在で55本の実を収穫し、実は少し小さくなってきたもののまだ沢山つけています。

とても食べきれないので皆さんにお裾分けしました。

苗を1ポットいただいたお陰で沢山の楽しみができ、皆さんにも喜んでいただけて良かったです。



雌花開花



雌花が開花して3週間で収穫できるようになります。

市役所花壇管理

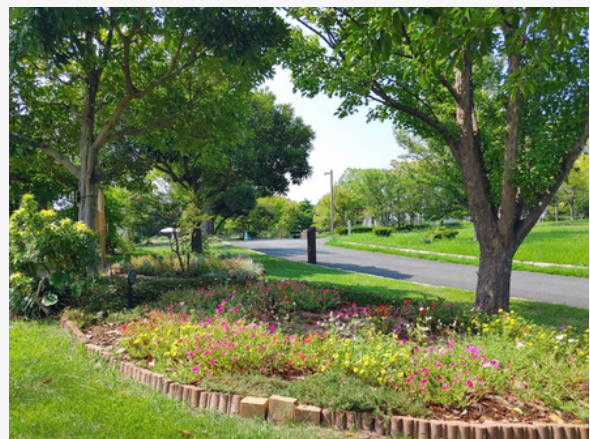
福岡市役所玄関前花壇の管理を園芸福祉ふくおかネットがさせていただくようになって、今年で6年目になります。
作業は今の時期、毎週火曜日の朝8時から2時間、4人で行っています。
長年、作業に参加されている井上さんから一言コメントをいただきました。



井上 妙子
気がついた事は当初に比べて樹木群が大きくなり、少し減ったり無くなった植物、ハーブ類と宿根草などと思いますが、いつも楽しく、作業が元気の元になっています。

園芸福祉の庭

アイランドシティ中央公園にある園芸福祉の庭は、2005年に開催された全国都市緑化フェア(アイランド花どんたく)の時に、市民が提案して造っていただいた庭で、車椅子利用の方も楽しめるレイズドフラワーベッド(立ち上がり花壇)があります。2006年には、福岡市花づくり団体に認定され、助成金を受けて毎月第2月曜日と最終日曜日の午前中2時間、楽しみながら管理作業を行っています。第2月曜日の作業に参加されている沖本さんより画像とコメントをいただきました。



9月11日(月)の定例作業の様子をお伝えします。今回は参加者5名で、センニチコウの切り戻しや除草作業、灌水作業が出来ました。花壇の草花も暑い夏を乗りきって元気に咲いてくれて何よりです。

沖本 圓

★新会員紹介★



山田 高久

今年度より、園芸福祉ふくおかネットの活動に参加させていただいている山田高久と申します。

昨年の初級園芸福祉士養成講座がきっかけで、園芸福祉ふくおかネットの活動を知りました。本職が造園業ということもあり、園芸にはかねてより興味がありましたが、趣味程度にしか考えていませんでした。

しかし、昨年の講座に参加した際、皆で作った花壇を色々な人が目にして楽しんでくれている様子を見て、「もっと花壇をつくりたい」「多くの人に園芸の癒しを感じてほしい」と思うようになりました。

自身にできることはまだまだ少ないですが、諸先輩方に教わりながら、活動の場を広げていきたいです。

入船 真穂

はじめまして、私は園芸福祉ふくおかネットのボランティア活動に新しく参加する、入船真穂(いりふね まほ)と申します！趣味はガーデニングはもちろん、スポーツやゲームです。昆虫も大好きです！植物はバラが特に好きで、自宅でたくさん育てています。

周りからは「マホさん」と呼ばれているので、気軽にそう呼んでくださいね。園芸を通じて人々の心身の健康をサポートすることに興味を持っています。活動を通して園芸福祉について学びながら交流を深めることができるのを楽しみにしています。

よろしくお願いします！

お知らせ

■ 会員研修会

「香りのサシェ作り」

2023年9月24日 アイランドシティ中央公園 ワークショップルーム
11時30分から

「土と肥料の基本を学ぶ」

2023年11月26日 アイランドシティ中央公園 ワークショップルーム
13時から

一人一花サミット2023開催概要（予定）

日時:2024年11月11日(土)から12日(日)

時間:10時から16時（予定）

場所:福岡市植物園

▽「園芸福祉の庭」定例作業

- ◆定例作業/第2月曜日・最終日曜日 10時～12時（6月～9月は9時～11時）
- ◆ところ/アイランドシティ中央公園 園芸福祉の庭（福岡市東区香椎照葉4丁目）
※雨天の時は中止、次週に変更です。

▽入会手続きのご案内

- ◆入会を希望される方は事務局（下記掲載）にご連絡下さい。
その後下記の口座に年会費2,000円をお振り込み頂き入金確認後に入会となります。
- ◆活動と一緒にされているお仲間やお友達など、園芸福祉に関心をお持ちの方がいらっ
しゃいましたらお気軽にお誘い下さい。
- ◆お振り込み先/西日本シティ銀行 小笹支店 店番222 普通貯金 口座番号1025817
園芸福祉ふくおかネット 代表 黒瀬恵子

園芸福祉ふくおかネット事務局

〒811-1351 福岡市南区屋形原2-40-6-1

TEL 090-5020-8758（北野）

FAX 092-553-8066

E-mail engeifukushi.fukuoka@gmail.com

URL <https://www.engeifukushi-Fukuoka.net/>

花便り第58号 令和5年9月20日

編集・発行/園芸福祉ふくおかネット